

2 奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	計画期間における具体的目標(B)	令和6年度末の目標値等	令和5年度末の状況(D)	本年度の重点的な取組	主な担当部署
1. 心と身体を子どもの成長に合わせはぐくむ	教育相談体制の充実	教育相談体制の推進	個別の生徒対応度 90%以上 (生徒アンケート 全学年平均)	個別の生徒対応度89.5%	カウンセリングシステムの保護者・生徒への周知を強化していく。働き方改革を推進することで、教員が生徒に向き合う時間を確保する。全校で教育相談体制を構築する。	生徒支援部
	学校保健活動の充実	バランスのとれた感染症対策と教育活動の実施	学校保健委員会の開催年2回	3月に1回開催予定	今年度はインフルエンザによる休業が4回あった。引き続き、感染防止対策に力を入れていく。	生徒支援部
2. 学ぶ力、考える力、探究する力をはぐくむ	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり	国際バカロレアMYPの試行実施	授業満足度 80%以上 (生徒授業アンケート 全項目平均)	授業満足度85.1%	国際バカロレアMYP候補校としての取組を進める。個人探究週間の午後や授業交流期間の積極的な活用方策を検討する必要がある。	教務部・IB
	ICTの効果的な活用	アプリ活用などの好事例の共有	ICT活用度 80%以上 (生徒授業アンケート 教科総合平均)	ICT活用度70.8%	Classiのより効果的な活用方法について引き続き研究を進める。令和8年度を目標に端末の自由化を検討する。	ESD部
	働き方改革を念頭においた職場環境の整備	分掌間の連携・調整	総合健康リスク 100以下 (教職員ストレスチェック)	79	診断結果を分析し、検討チームを立ち上げて、業務改善を図っていく。外部の支援員の活用なども検討する。	管理職
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	キャリアサポート体制の整備	キャリアデザイン力の育成	キャリア支援度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	進路支援度91.7%	中学校のキャリア支援のあり方について、引き続き研究を進める。	キャリア支援部
	インターンシップやフィールドワークの充実	職場体験や奉仕活動の推進	学校外の活動でATLスキルを伸ばすことができた回答する生徒 100%	100%(暫定値)	サービスアズアクションの担当者置き、さらに効果的な運用ができるようにする。	生徒会支援部
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	平和の文化の促進 (グローバルマインドの涵養)	国際バカロレアMYPの試行実施	国際バカロレアプログラムの認定に向けた教員研修 年間20回以上	現時点での研修回数24回、保護者会4回	国際バカロレアの認定に向けた取組を進める。感染症拡大防止のために中止になった保護者向けワークショップを開催する。	IB担当
	外部機関との連携の促進	大学や地域など関係機関との連携強化	外部機関との連携回数 50回 (3年間の累計)	連携行事回数93回	連携が多岐にわたるため、連携の窓口を整理する必要がある。	ESD部
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	国際視点の人権教育、多文化理解の推進	豊かな心を育む人権教育推進体制の構築	満足度 95%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	満足度91.0%	ミッション実現のための取組を継続するとともに、広報活動にも力を入れる。授業体験などを通して、保護者の理解を深められるように取り組む。	全員
	個に応じた指導の効果的な実施	より良い観点別評価の方法	多面的評価満足度 90%以上 (生徒・保護者アンケート 全学年平均)	多面的評価満足度86.5%	国際バカロレアの基準に則った評価の好事例を共有し、指導と評価の一体化につとめる。	教務部・IB
	特別支援教育の推進	個別の指導計画の活用の徹底	個別の学習指導計画シート活用率 100%	該当生徒なし 支援が必要な生徒のスクリーニングを徹底	引き続きスクリーニングを徹底し、必要な生徒に学年、学校全体で対応できる体制を構築する。学校全体のユニバーサルデザインを推進する。	生徒支援部